

三陸北部森林管理署

庁舎のあらまし



新庁舎

平成26年3月

■設計コンセプト

本建物は、東日本大震災の津波を教訓に1階部分を鉄筋コンクリート造のピロティ形式とし、2・3階部分を大断面集成材による木造の混構造で計画しています。

また今までの森林管理署のデザインや周辺の住居に馴染むように勾配屋根を取り入れています。

1階玄関部分の外壁はスギ板張りとし、森林管理署の木のイメージとピロティの重苦しさを緩和するように配慮しています。

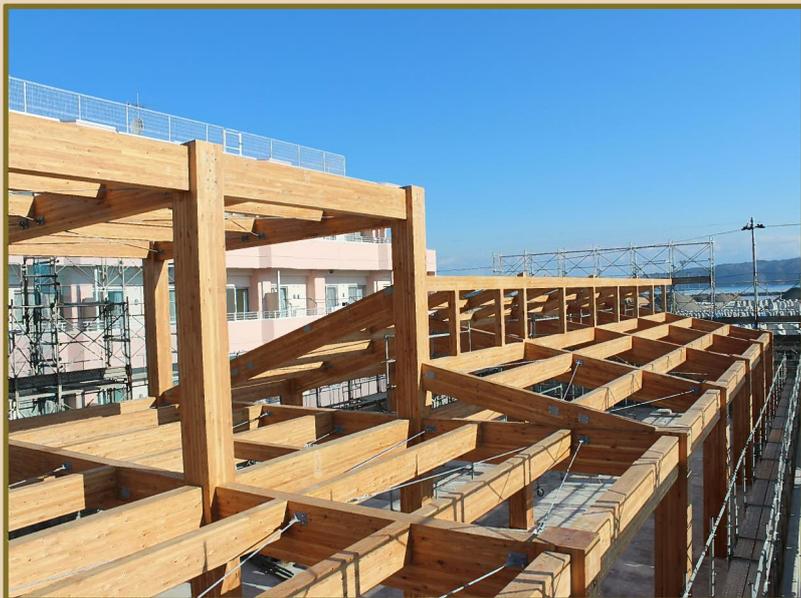
2階部分には、東から南側までベランダを設置し、建物のアクセントとすると共に、津波に対する防災を意識させるデザインとしています。また、外部から昇降できる外部階段を設け、素早く避難が出来る安心感を持たせたデザインとしています。

使用木材については、国産間伐材、合法性、持続可能性が証明されたものを基本とし、大断面集成材についてはカラマツ、その他の構造材及び造作材はカラマツ・スギ・ナラ・タモを使用しています。



～大断面集成材～

工法：スーパーサミット
HR工法
(三井住商建材)
使用木材：カラマツ

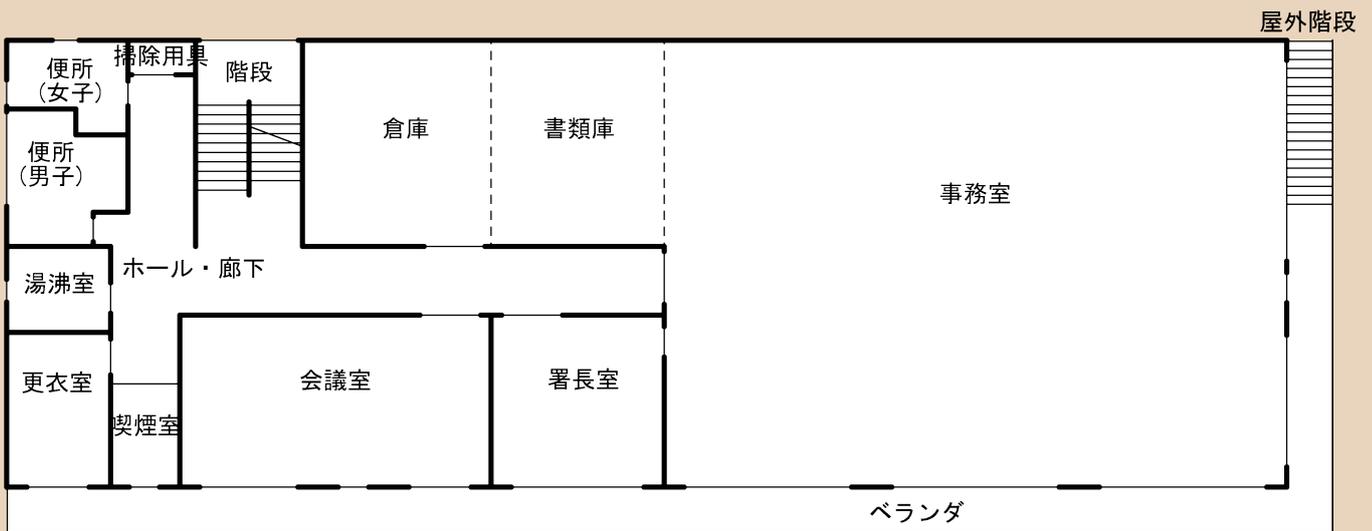


材種	材積 m ³
カラマツ(大断面)	59.3
カラマツ(集成材)	3.0
カラマツ(無垢)	4.8
スギ(集成材)	60.5
スギ(羽目板)	2.2
スギ(無垢)	30.2
合計	160.0

■各階平面図



1 階平面図



2 階平面図



3 階平面図

■ 1階



～多目的便所～

「官庁施設のユニバーサルデザインに関する基準」に準拠し、1階の便所はバリアフリー化としています。



～ピロティ～

東日本大震災の津波を教訓に1階部分を鉄筋コンクリート造のピロティ形式としています。



～玄関～

玄関部分の外壁はスギ板張りとし、森林管理署の木のイメージとピロティの重苦しさを緩和するように配慮しています。

■ 2階



～事務室～

柱・梁はカラマツ大断面集成材を使用しています。フローリングはナラ材を使用し、ハイサイド部分の壁にはスギ板を使用しています。



～署長室～

柱・梁はカラマツ大断面集成材を使用しています。フローリングはナラ材を使用しています。



～ベランダ～

東から南側までベランダを設置し、非常用通路としての機能を持たせています。

■ 3階



～森林事務所～

柱・梁はカラマツ大断面集成材を使用しています。フローリングはナラ材を使用しています。



～避難はしご～

非常時の避難が容易に行えるように、男子休養室に避難はしごを設置しています。

■ その他



～ペレットストーブ～

2階事務室内にペレットストーブを設置し、木質バイオマス利用を促進しています。



～階段～

踏板・蹴込板にタモ材を使用しています。また、一部分にはケヤキ材を使用しています。



～サッシ・照明～

「地球温暖化防止対策促進法」に準拠し、CO₂等の削減及び省エネルギー化の為に、断熱サッシ・ペアガラス及び照明器具にはLEDを使用しています。

○庁舎の概要

構造・階数	1階：鉄筋コンクリート造	2～3階：木造(大断面集成材)
床面積	1階：27.64m ²	
	2階：398.31m ²	
	3階：82.35m ²	
	延べ：508.30m ²	
建築面積	：412.05m ²	
敷地面積	：1,799.18m ²	
設計監理	：株式会社 八洲建築設計事務所	
施工	：東野建設工業株式会社	

○三陸北部森林管理署の沿革

明治21年	岩手大林区署宮古派出所開庁（現在の宮古市（旧新里村、田老町含む）、山田町、川井村を管轄）
明治28年	宮古小林区署と改称
大正13年	宮古営林署と改称（旧岩泉小林区署を分離し岩泉営林署を新設）
昭和7年	川井営林署を分離新設、宮古市（旧新里村を含む）、山田町の一市一町一村を管轄
昭和39年	現庁舎新築
平成10年	川井営林署を統合し川井森林管理センターに改組
平成11年	組織の再編により三陸北部森林管理署となる。久慈・岩泉営林署を統合し、久慈支署、岩泉事務所に改組（久慈・閉伊川流域の国有林を管理経営）
平成13年	岩泉事務所を廃止し統合
平成16年	川井森林管理センターを廃止し統合
平成23年	3月11日東日本大震災の大津波により、森林管理署及び宮古、山田森林事務所並びに宿舎が全壊 宮古市川井に本署仮庁舎を設置。
平成26年3月	新庁舎完成。

○三陸北部森林管理署の管内紹介

三陸北部森林管理署（久慈支署を含む）では、久慈・閉伊川森林計画区内の国有林93,615haを管理経営しています。

当計画区の主な山岳は、日本百名山の一つであり、北上高地の最高峰である早池峰山をはじめ、遠別岳、三巢子岳、薬師岳等があります。

主な河川は、閉伊川、津軽石川、田老川、小本川、久慈川、安家川、普代川等が東流して太平洋の三陸海岸に注いでいます。

管内には、水資源確保のための水源かん養保安林や国土保全のための土砂流出防備保安林など各保安林に指定されている森林が多くあります。

また、北山崎をはじめ優れた景観を有する地域が多く、複雑な海岸線をなしている「三陸復興国立公園」（平成25年5月指定）、登山、渓谷等の散策、キャンプ等に四季を通じて入り込み者に利用されている「早池峰国立公園」・「久慈平庭県立自然公園」等があります。

このほか、原始的な天然林を保護するため早池峰山周辺は「森林生態系保護地域」に指定されています。管内一帯は渓谷、豊かな森林景観に恵まれ、森林を利用したレクリエーション・保健休養の場として多くの人々に利用されています。三陸北部森林管理署では、このような当地域の特色を活かしつつ公益的機能の維持増進を旨とした管理経営を行うこととしています。